



諏訪湖通信22号

令和2年4月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



年度当初のごあいさつ

諏訪湖創生ビジョン推進会議会長 沖野 外輝夫

当推進会議も今年で3年目を迎えました。2年目の昨年には念願の「諏訪湖の日」を制定し、加盟諸団体でもそれぞれに諏訪湖の環境保全に向けて多彩な活動に取り組んでいただきました。今年3月には一年間の総括となる総会を開き、それらの活動を直接ご報告いただく予定でしたが、新型コロナウイルスという思わぬ事態に直面し、書面会議という形式での開催となりました。コロナ騒動がこの先どうなるのか不明な形での令和2年度の幕開けとなりますが、諏訪湖を中心とする諏訪地域の環境保全に向けて皆さまとともに活動を続け、少しでも目標に近づきたいと思っています。ご協力お願いいたします。



ミャンマー訪問の様子

諏訪湖通信18号でもご紹介しましたミャンマーからの研修プロジェクト(JICA)からの要請で、本年2月に現地でのワークショップに参加してきました。1989年から4回行われた「日独環境まちづくりセミナー」を中心とする諏訪湖浄化対策の、官民協働活動の報告です。ミャンマーとの湖連携は諏訪地域の経験を今後どのように世界に伝え、活かすことができるか、諏訪湖創生ビジョンにとっても今後の課題でもあります。

「下諏訪ローイングパーク AQUA未来」が完成しました!

下諏訪町に新たに水上スポーツの拠点となる新艇庫が完成し、4月4日(土)には完成記念式典が開催されました。本施設は、湖畔の健康スポーツゾーンの西側の拠点として、ボート競技をはじめとする水上スポーツやアクティビティーにご活用いただくとともに、長野県に整備していただいた防災護岸とともに、災害時には船を使って物資や人を輸送する拠点となる機能も併せ持った複合施設として整備いたしました。また、施設の完成に合わせ、下諏訪町漕艇場一帯を「下諏訪ローイングパーク」と改称し、施設の愛称を「AQUA未来(アクアミライ)」と命名しました。「下諏訪ローイングパーク」は、多くの住民の皆様気軽に訪れていただきたいという思いを込めたものです。



施設全体図



テープカットの様子

「AQUA未来」という愛称には、未来に向かって多くのアスリートが活躍してほしい、また、災害の少ない未来になってほしいという思いが込められています。

本施設が、多くの皆様に親しまれることを期待し、引き続き諏訪湖創生ビジョンの実現に向け各種事業を推進してまいります。(下諏訪町教育委員会スポーツ振興係)

◆施設概要

	防災拠点棟	艇庫棟	外構
塔屋	屋上(展望スペース)	—	・眺望が楽しめる足湯 ・棧橋: 3m×12m 2基 3m×18m 1基
2階	災害対策室、事務室、放送室、女子更衣室兼要支援者個別対応室	艇庫	・艇庫前は艇の調整用にも使える広場
1階	公衆トイレ、防災倉庫、電気室、男子更衣室兼要支援者個別対応室	収容数: 135 艇	・スロープは芝生加工

船魂社のシダレザクラが今年もきれいな花を咲かせました

船魂社(ふなたまじゅ)は岡谷市湊の諏訪湖が望める高台にある神社です。平成18年7月の集中豪雨により、湊小学校近くの小田井沢で発生した土石流が流域の住民7人の命を奪い、船魂社境内を囲む杉林や本殿も押し流しました。しかし境内にあった樹齢100年を超えるシダレザクラは、直撃を受けながらも、倒れることなく踏ん張って土石流の勢いを分散させ、そのお陰で直下の人家が助かったといわれています。



船魂社の位置図

被災後、住民約50人が感謝の思いを込め、根元に積もった土砂を片付けたり、樹皮がむけた幹に薬を塗り麻布で巻いたりしました。翌年の開花が心配されていましたが、手当てをしてきた地元住民たちの思いに応えるように再び見事な花を付けました。現在も「災害復興のシンボル」として地域の心の支えになっています。

シダレザクラは、今年も見事な花を咲かせました。今、私たちは新型コロナウイルスという新たな脅威にさらされていますが、この花のように災難を乗り越え、ゆっくりと桜を愛でることができるようになる日が来ることを祈りたいと思います。



当時の湊小の児童が、桜の木への感謝の気持ちを作文にしました。

樹種 エドヒガン枝垂れ桜
樹高 18m 幹囲 3.3m
推定樹齢 110年
岡谷市指定天然記念物 (1990年4月10日指定)
所在地 岡谷市湊3丁目

ジョウビタキが庭先にやってきました

庭仕事をしていて、ジョウビタキに出会いました。ジョウビタキは中国大陸などから冬に日本にやってくるスズメほどの大きさの渡り鳥です。人懐っこく、近くにやってきて様子をさぐっていて時々尾羽を小刻みに震わせます。〇〇ビタキは火打ち石を意味していて鳴き声が火打ち石を打つ音に似ているそうです。よく似た野鳥にキビタキがありますがジョウビタキと違って、夏に、東南アジアの方からやってきます。地球温暖化と渡り鳥の関係は、興味深いテーマです。皆さんも、ご自宅で過ごす時間に、庭先での野鳥観察はいかがでしょう。



ジョウビタキ(オス)冬鳥



キビタキ(オス)夏鳥

今月も主なイベントはお休みです。皆様どうぞご自愛ください。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信23号

令和2年5月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



令和元年度の諏訪湖の水質(速報値)が まとまりました

平成30年度と比較して、水の汚れを示す代表的な指標であるCOD、全窒素、全りん及び透明度のすべての値が改善されました。単年度のみで評価することはできませんが、皆さんの取組が水質改善に繋がっています。今後も「泳ぎたくなる諏訪湖」「シジミが採れる諏訪湖」を目指して、連携して取り組んでいきましょう!

単位: mg/リットル (透明度: m)

項目	R元年度速報値	H30年度	目標値(R3年度)	環境基準	
COD	75%値	4.9	5.0	4.8	3.0
	(参考) 年平均值	4.1	4.7	4.4	—
全窒素	年平均值	0.61	0.63	0.65	0.6
全りん	年平均值	0.040	0.045	現状水準(環境基準の達成)の維持	0.05
透明度	年平均值	1.1	1.0	1.3m以上	—

COD(化学的酸素要求量)は、有機物による湖沼などの汚濁の程度を示すもので、水中の汚濁物質を酸化剤によって酸化するときに消費される酸素の量をいいます。数値が高いほど有機物の量が多く、汚れが大きいことを示しています。

CODの75%値とは、COD測定結果の評価方法の1つであり、環境基準の適否の判定に利用されます。全データを小さい方から並べたときに(データ数×0.75)番目の値をいいます。

環境基準とは生活環境を保全する上で維持することが望ましい基準であり、諏訪湖では長期的にその達成を目指しています。

「みんなの諏訪湖～諏訪湖読本～」 を発行しました

諏訪地域振興局では、多くの皆様のご協力のもと、諏訪地域の小学生が諏訪湖に対する理解を深めてもらうための副教材として、「みんなの諏訪湖～諏訪湖読本～」を発行し、諏訪地域の全小学校の3・4年生を対象に配布しました。諏訪湖創生ビジョンホームページにも掲載していますので、諏訪湖に関する学習の際などにご活用ください。

【概要】

名称: 「みんなの諏訪湖～諏訪湖読本～」
発行: 諏訪地域振興局
協力: 諏訪湖創生ビジョン推進会議、(一社)信州教育出版社
仕様: B5 48ページ オールカラー
内容: 諏訪湖の地形、諏訪湖の自然、諏訪湖の水、諏訪湖の治水、諏訪湖を守る



【表紙】



【中面抜粋】



【ホームページ】

あした天気にな～れ ① 諏訪湖周を散歩してみよう (右廻り編)

コロナ禍で不安な毎日が続きます。紙面で諏訪湖周の散歩気分を味わっていただきたいと思います。今回は諏訪市の湖畔から釜口水門まで右回り約8kmのコースをご紹介します。状況が落ち着いたら、感染対策を行いつつ、歩いてみてください。



コース位置図



「諏訪湖ふれあい渚」全景

① 諏訪湖ふれあい渚

『海の日』が1996年7月20日制定されたことを記念して、日本の渚(なぎさ)百選に「諏訪湖ふれあい渚」が選ばれました。タイトル横の写真はその時に立てられた記念の標柱です。

② 塩嶺峠越しに槍ヶ岳が

視界が良好であれば、遠い北アルプスの主峰槍ヶ岳(3,190m写真右)や奥穂高岳(3,180m左)北穂高岳(3,106m中央)などを見ることができます。3000m級の山が8峰も連なっています。



北アルプスの主峰たち

③ かりん並木

昭和41年に植樹されたのが始まりで現在は延長1,200mに200本のカリン(マルメロ)が植えられています。市のマスコットキャラクターや路線バスの名前にも使われ諏訪市のシンボルとして親しまれています。



カリンの花

④ ビオトープ

クリーンレイク諏訪の西側に自然を再生した池がつけられました。魚や水鳥の様子を見ることができます。水をすくってみるとミジンコなどの大きなプランクトンを観察することができます。



ビオトープで観察

⑤ 八ヶ岳の展望

蓼科山は手前の山で隠されていますが八ヶ岳の主峰赤岳(2,899m)をはじめ、ほぼ全容を見ることができます。位置的に夕陽を浴びた八ヶ岳は特に素敵です。ここから直線で赤岳まで31kmあります。



横断歩道橋から八ヶ岳遠望

《構成員の皆さまへ》

第5回推進会議に向けた今年度の活動計画の報告をお願いします。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信24号

令和2年6月22日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



信州大学理学部附属湖沼高地教育研究センター 諏訪臨湖実験所のご紹介

水環境保全部会長 宮原 裕一

私の勤務する信州大学諏訪臨湖実験所では、学生とともに諏訪湖の定期観測を行っています。この定期観測は1977年に始められ、今年で44年目となります。私達は、諏訪湖の生態系を理解することを目的に現場での観測、水質調査に加え生物試料の観察も併せて行っています。

先日、SBCの「エコロジー最前線」

で、定期観測の様子を取材してい

ただきました(6月27日放映予定)。ちょうどSpring's clear water phase(春の透明期)にあたり、諏訪湖の透明度が3mを超えていました。44年間の定期観測の歴史において、ここまで透明度が高くなることは今までにはありませんでした。当日、湖水中には目視可能な大型のミジンコ(カプトミジンコ)が多く泳いでいました。ミジンコは、湖水中の植物プランクトンを濾しとって食べるので、ろ過能力の高い大型のミジンコが増えたことで透明度が増したものと考えています。

このような私達の研究と諏訪湖の現状を知ってもらうため、毎年7月初旬に施設の一般公開を行っています。今年はWEB上で行う予定です。現在、学生とともにその準備をしている最中ですが、7月になったら、信州大学のHPをご覧ください。ただければ幸いです。



全国川ごみネットワーク

2019全国水辺のごみ調査報告がまとまりました

全国川ごみネットワークが主催の「2019全国水辺のごみ調査報告がまとまり、同ネットワークのホームページにアップされています。

https://kawagomi.jp/2020/03/19mikke_kekka/
「ごみの無い諏訪湖」ワーキンググループの検討に基づき、昨年度初めて実施した「諏訪湖まるまるゴミ調査」の結果も報告しています。

全国の水辺のプラスチックごみの数を取りまとめた結果を計算すると、川岸を8分(約600m)歩いただけで、ペットボトル100本と、レジ袋40枚が見つかる計算になるのだそうです。すごい量ですね! これらのごみは自然に分解されることはなく、やがてマイクロプラスチックとなって海を漂っていきます。

まずは、私たち一人一人が、自分事として水辺のごみに関心を持ち、ごみ減量に取り組んでいくことが大切です。

「諏訪湖の日」協賛企画・広告募集を 予定しています!

多くの方の諏訪湖への関心を高めるために制定した「10月1日・諏訪湖の日」のPRとして、今年度も関連企画と協賛広告を、6月25日から募集する予定です。コロナ禍で、大規模なイベントは難しい状況ですが、少人数での美化活動など工夫してできることで、「諏訪湖の日」を盛り上げていこう、ご協力をお願いします! また、「諏訪湖にありがとう!」メッセージも併せて募集します。詳しくは諏訪地域振興局ホームページに25日以降掲載しますので、ぜひご覧ください。

あした天気にな〜れ ② 諏訪湖周を散歩してみよう (左廻り)

前回に続き、紙面で諏訪湖を歩いてみます。今回は諏訪市湖畔から釜口水門まで左回り約8kmのコースですが、こちらも見どころがたくさんあります。



① 富士見百景(下諏訪町)

国土交通省選定「関東の富士見百景」に選ばれています。富士山から約90km離れたこの住宅地で見ることができるのは、フォッサマグナが富士山方向に延びているからです。



富士山がちょうど真ん中に

② 赤砂崎公園(下諏訪町)

今年4月に整備が終了し、全面供用開始されました。砥川を挟み、諏訪湖と山々を望める絶好の場所にあり、大人から子供まで楽しめる設備がそろっています。また、災害時の広域防災拠点の役割も担っています。



公園の遊具と築山

③ 横河川河口(岡谷市)

河口のため流れがあり、冬も水が張らないので白鳥やカモが自然と集まってきました。天気の良い日には富士山を背景に白鳥の美しい姿を眺めることもできますよ!



たくさんの白鳥やカモ

④ 噴水が白鳥の形に(岡谷市)

釜口水門の沖合、約120mの位置にあり、高さが55mまで噴き上げています。水の噴き方は白鳥をかたどった3パターンがあり、1時間ごとに約15分間噴き上がります。



高く上がった噴水

⑤ 小口太郎慰霊碑(岡谷市)

小口太郎は、明治30年、湊村(岡谷市)に生まれ、第三高等学校(今の京都大学)に進学しました。ボート部員の一員として琵琶湖周航クルーに参加した時に、故郷諏訪湖を想い創った歌が広まり「琵琶湖周航の歌」として歌い継がれています。



小口太郎の銅像と歌碑

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信25号

令和2年7月21日号 発行:諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖創生ビジョンに基づく事業の紹介 [諏訪建設事務所]

今年度、諏訪湖創生ビジョンにより、諏訪建設事務所で実施する事業を紹介します。



①ヒシ除去・覆砂、②覆砂

ヒシの刈取り及び覆砂を実施し、水質の浄化、貧酸素化の抑制を図ります。( ...繁茂状況を見てヒシ刈りを実施予定)



水草刈取り状況



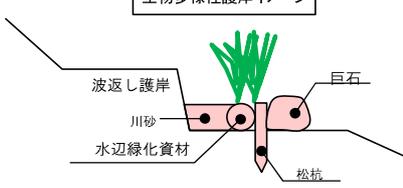
覆砂施工状況

③生物多様性護岸工、動植物調査

多種多様な生き物を育む湖を目指し、生物多様性を創出する護岸整備や動植物の分布状況を把握するための調査を実施します。

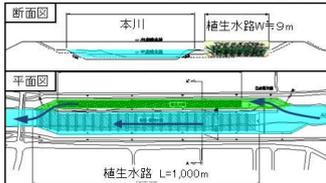


生物多様性護岸イメージ



④植生水路工

上川にヨシの植生水路を設置し、栄養塩類を回収し除去します。



⑤サイクリングロード

武井田川橋付近～六斗川橋付近が7月29日に開通予定です。



「諏訪湖の日」に向けて、募集中です！

諏訪湖に感謝し、守り、活かしていくため、昨年度制定した「10月1日・諏訪湖の日」に向けて、取組を進めています。コロナ禍の中ですが、それぞれできることを持ち寄り、「諏訪湖の日」を意義ある日にできますよう、ご協力をお願いします！

協賛企画・協賛広告を募集しています

概ね9月～10月に行われる「諏訪湖に感謝し、将来にわたり守り、活かしていく」ための企画を取りまとめ、集中的に情報発信することとしています。想定される企画は、一斉清掃などの美化活動、諏訪湖での自然体験、「諏訪湖の日」を記念した割引等の各種行事などです。原則的には、一般の方が参加できるものとしていますが、今年度はコロナ対策の観点から、少人数での企画も対象とします。協賛いただいた企画は「諏訪湖の日プロジェクト」として、新聞、ホームページなどで、一体的にPRします。「諏訪湖の日」記念メニューや、「諏訪湖の日」にちなんだ商品など、話題性のある企画もお待ちしております。ぜひ、ご検討ください！あわせて、協賛広告も募集しています。広告は、地域紙(市民新聞グループ、長野日報等)の諏訪湖の日特集紙面に掲載する予定です。詳しくは県諏訪地域振興局「諏訪湖の日」ホームページをご覧ください。



「諏訪湖にありがとう！」メッセージをお寄せください

コロナ禍で、今まで当たり前だと思っていたことがありがたく感じる日が続いています。美しい諏訪湖も、「あって当たり前」ではありません。「諏訪湖の日」をきっかけに、私たちの宝諏訪湖やそれに関わる方々に今一度目を向けてもらい、感謝の気持ちを表していただく機会として、「諏訪湖にありがとう」メッセージを募集しています。匿名やペンネームでも応募可能で、100文字以内、メールやながの電子申請ホームページから簡単に送ることができます。いただいたメッセージは地域紙の「諏訪湖の日」特集内や、「諏訪湖の日」ホームページなどに掲載する予定です。ぜひ、皆様の諏訪湖への思いを発信してください！こちらも詳細は「諏訪湖の日」ホームページに掲載しています。(QRコードをご利用ください)



諏訪湖創生ビジョン公式SNS(Instagram・フェイスブック)を開設しました

諏訪湖の美しい風景、諏訪湖に関する魅力あるモノ・コト・ヒトや、諏訪湖創生ビジョンの取組を、世界に発信するため、諏訪湖創生ビジョンのSNSを開設しました。Instagramは、ご自分のアカウントに投稿する写真に「#諏訪湖創生」または「#suwako_love」のハッシュタグをつけていただくと、リポスト(再投稿)して、公式アカウントで紹介させていただきます！来月から、フォトコンテストも開催予定！ぜひフォローや投稿をお願いします！

Instagram (@suwako_love)



フェイスブック



今後に予定しているイベントです

● 8月1日～10月31日	諏訪湖Instagramフォトコンテスト 主催:諏訪湖創生ビジョン推進会議
● 8月8日～16日	あかすなみずベテラス in summer 主催:赤砂水辺空間活用実行委員会

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901



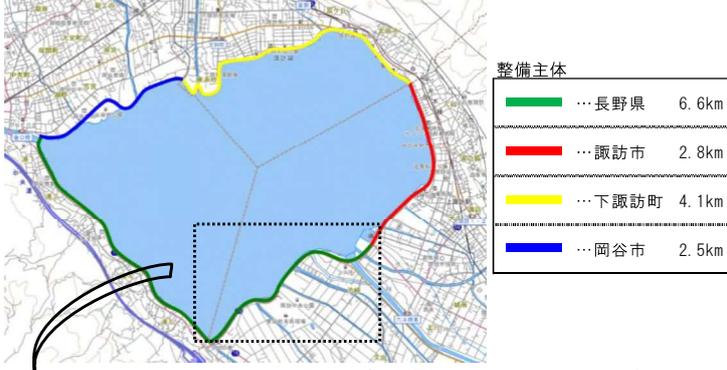
諏訪湖通信26号

令和2年8月20日号 発行:諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖周サイクリングロードがさらに延長されました! [諏訪建設事務所]

現在、長野県、岡谷市、諏訪市、下諏訪町で、全長約16kmの諏訪湖周サイクリングロードの整備を進めています。



現在、諏訪建設事務所では、上図の点線で囲った部分につきまして、工事を進めています。詳しい状況については下図のとおりです。



実線部分はすでに完成しており、7月29日には上図の武井田川橋～六斗川橋の間の供用を開始しました!引き続き、ヨットハーバーまでの間について、工事を進めてまいります。少しずつ整備が進むサイクリングロード。皆様も諏訪湖や山々の素晴らしい眺めを楽しみながら、走ってみてはいかがでしょうか。

①クリーンレイク前付近



②六斗川橋付近



メガネサナエのモニタリングを行いました

県諏訪地域振興局では、7月15日、7月25日及び8月4日に、絶滅危惧種に指定されているトンボ「メガネサナエ」の羽化殻調査を諏訪湖で行いました。岡谷市、諏訪市及び下諏訪町で、湖岸の桧橋などの羽化殻を数えたところ、メガネサナエの羽化殻は3日間で141個確認できました。調査中に羽化の瞬間も見ることができました。8月下旬からは、成虫の調査を行っていきます。



羽化殻調査 メガネサナエの羽化殻 羽化の瞬間

10月1日は「諏訪湖の日」! 「諏訪湖の日プロジェクト」のご案内

諏訪湖に感謝し、守り、活かしていくため、昨年度諏訪湖創生ビジョン推進会議で制定した「10月1日・諏訪湖の日」が近づいてきました。コロナ禍の中ですが、9月から10月にかけて、いろいろな団体が工夫をこらして、諏訪湖に関する企画を計画されています。詳細がまとまりましたら「諏訪湖の日」ホームページにて「諏訪湖の日プロジェクト」としてご紹介します。感染症対策には十分留意の上、ぜひ皆様が「諏訪湖のためにできること」を見つけて、参加してみてください!もちろん、ただ諏訪湖を想う、眺めるだけでもOKです!今回は、すでに開始した、また近く始まる企画をご案内します。

諏訪湖Instagramフォトコンテスト開催中!

諏訪湖創生ビジョン推進会議では、諏訪湖Instagramフォトコンテストを開催しています!あなたのおきの諏訪湖を写した1枚を、ぜひ世界に発信してください!最優秀賞には商品券と諏訪地域特産品(ウナギのかば焼き、すわっこヒシパワー)をプレゼント!



詳しくは「諏訪湖の日」ホームページ(→)に掲載の応募要領を必ずご確認ください。



コロナに負けるな!! 諏訪湖DEウォーク

諏訪市では、個人で気軽に参加できるウォーキングイベントを開催します。9月28日(月)～10月4日(日)のイベント期間中、各自で設定した歩数目標に諏訪湖周でウォーキングを行っていただくイベントです。参加者には先着100名様にすわっこランド入館券や諏訪湖の日記念バッジなどの参加賞を差し上げます。申込受付期間は9月1日(火)～25日(金)です。参加費は無料ですので、お気軽にご参加ください。詳しいイベント内容、申込方法などは諏訪市ホームページをご覧ください。ホームページはこちらから→



今後に予定しているイベントです

● 9月～10月 諏訪湖の日プロジェクト開催期間
詳細は諏訪湖の日ホームページを参照

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901



諏訪湖通信27号

令和2年9月24日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



「諏訪湖の日プロジェクト」等のご紹介

諏訪湖を守り、活かしていく機運醸成のため昨年度制定した10月1日・諏訪湖の日。その日を挟んだ概ね9月から10月に行われる諏訪湖に関する企画を「諏訪湖の日プロジェクト」としています。

今回は、「諏訪湖の日プロジェクト」のうち、9月13日に行われた「諏訪湖レガッタ」、9月19日から4日間実施する「ヒシ取り作業」、そして、8月に行われた「諏訪湖クリーン祭」をご紹介します。

第39回 下諏訪レガッタ



新しい「AQUA未来」でのレース

第1回大会は1982(昭和57)年に開催し、今年で39回を数えました。これまでの大会との大きな違いは、コロナ禍での開催でした。役員会を重ね、感染予防のガイドラインを作り、それぞれのクルーがこれを遵守して練習を積み、開催できましたことに安堵しました。

例年より少ないエントリー数でありましたが、すべてのレースができ、漕艇場が活気に沸いた日となりました。

ボート競技は、施設設備が整っていないとできないスポーツです。身近な諏訪湖に集い、生涯スポーツとしてこれからも楽しんでいただきたいと思います。(下諏訪町漕艇協会)

諏訪湖に学ぶ〜ドキュメンタリー番組「中海再生への歩み」がギャラクシー賞を受賞

鳥取県米子市のケーブルテレビ局、中海テレビ放送が制作したドキュメンタリー番組「中海再生への歩み〜市民と地域メディアはどう関わったのか〜」が、優れた放送に贈られる第57回ギャラクシー賞報道活動部門の大賞に選ばれました。「泳げる中海」をスローガンに中海の環境問題や利活用を20年にわたって報道し、市民を巻き込んだ中海再生活動へと発展させた取組が高く評価されました。ケーブルテレビ局の大賞受賞は初めてです。

中海が取組の参考にしたのは公民協働での浄化活動の先輩である諏訪湖の浄化活動、特にアダプトプログラム(河川等の美化活動を住民・団体企業等が主体となって行う仕組み)です。中海の浄化活動と番組制作の指導助言を行った沖野外輝夫諏訪湖創生ビジョン推進会議会長に中海の関係者から報告と謝意が示されました。諏訪湖の先駆的な取組が、この中海をはじめ、昨年のミャンマー国インレー湖など世界に広がっています。この歴史を誇りに、わたしたちも「泳ぎたくなる諏訪湖」を目指して、諏訪湖創生ビジョンを推進していきましょう。



タイトル画面
(中海テレビ放送番組から引用)

ヒシ取り作業

諏訪市セーリング協会主催による、諏訪湖のヒシ取り作業が行われました。コロナ対策のため、協会の皆さんほか、諏訪湖創生ビジョン推進会議など関係者のみでの作業となりましたが、大勢の参加者が、諏訪湖のために汗を流しました。



また、セーリング協会では、県の「地域発元気づくり支援金」を活用してヒシの実の有効活用策を検討するそうです。たくさんのヒシの実が、どのように活用されるのか、楽しみです。作業は、9月26日、10月3日も行われる予定です。



第39回 諏訪湖クリーン祭



本年8月22日(土)の第39回諏訪湖クリーン祭は、新型コロナウイルス感染症を考慮し、清掃活動に特化した「諏訪湖クリーン大作戦」として実施しました。今回も多数のご参加を頂きましたが、特に嬉しかったのは、多くの子どもたちに参加していただいたことです。この活動を通じて、次世代を担っていく子ども達の中に、諏訪湖を大切にしたいという思いが育ってくれることを願っております。

長年に渡る地道な活動が実り、湖畔に流れ着くごみの量は減ってきたと感じます。しかし、諏訪湖で行ったごみ調査の結果を見ますと、細かなプラスチックごみが大半を占めていますので、今後はこれらの対策を含めた取組に努めていかなければならないと改めて感じているところです。引き続き諏訪湖浄化に向けて、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。(下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会)

「諏訪湖の日」特集が掲載されました

多くの企業・団体の皆様から「諏訪湖の日」に対する協賛をいただき、9月12日・20日の長野日報、20日の市民新聞グループ6紙に「諏訪湖の日」特集と、諏訪湖創生ビジョン推進会議が公募した「諏訪湖にありがとうメッセージ」を掲載していただきました。

この「メッセージ」の募集は、今回初めての企画でしたが、諏訪地域はもとより、遠くは大阪市の方からも投稿がありました。協賛いただいた皆様、メッセージをお寄せいただいた皆様ありがとうございます。

また、諏訪地域の生活情報誌「月刊ぷらざ」10月号巻頭特集で「諏訪湖の日」を掲載してもらいました。その中で、沖野会長が「人々の関心が薄れると、川や湖は汚れていく」と話しています。「10月1日・諏訪湖の日」は、一人でも多くの方が、諏訪湖に思いを寄せ、関心を持っていただく日になることを願っています。ぜひ「月刊ぷらざ」もご覧ください。

「水環境保全部会」及び「湖辺面活用・まちづくり部会」を開催します!

諏訪湖創生ビジョン推進に向け、両部会を開催する予定です。コロナ感染症対策のため、参加人数を調整する可能性があります。構成員の皆様はご予定いただくようお願いいたします。

詳細はまた改めてご通知申し上げます。

日時: 令和2年11月5日(木)

午前: 水環境保全部会

午後: 湖辺面活用・まちづくり部会

場所: すわっちゃお又は諏訪合同庁舎講堂

今後に予定しているイベントです

- 9月～10月 諏訪湖の日プロジェクト開催期間
詳細は諏訪湖の日ホームページを参照

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。

事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信28号

令和2年10月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



「諏訪湖の日プロジェクト」のご紹介～Vol. 2

諏訪湖を守り、活かしていく機運醸成のため昨年度制定した10月1日・諏訪湖の日。その日を挟んだ概ね9月から10月に行われる諏訪湖に関する企画を「諏訪湖の日プロジェクト」としています。前回に続き、「諏訪湖の日プロジェクト」のうち、9月27日に行われた「トムソーヤ・川プロジェクト」、10月3日に行われたヒシ取り作業、9月28日から10月4日にかけて行われた「コロナに負けるな！諏訪湖DEウォーク」の様子をご紹介します。

諏訪湖を漕ぐ・上川を漕ぐ

身近な諏訪湖周の川を「自らの力でカヤックを漕ぐ・水面から様々な情景を眺める」。きわめて単純な行為ですが、子供たちにとってはとても新鮮な体験となっており、回を重ねるごとにその視野も広がり、湖や流れ込む河川に関心を示してくれます。



昨年10月1日を「諏訪湖の日」と制定して、2年目を迎えた「諏訪湖の日プロジェクト」の一環として、9月27日(日)には大勢の親子さんがこのカヤック体験講習に参加され、緊張の中にも、自然の中に身をゆだねる爽快さと、諏訪湖は身近な遊び場であるということを実感を通して感じていただけたのではないかと思います。(諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト 百瀬 篤)

ヒシ取り作業

諏訪湖ライオンズクラブでは『私たちの心のふるさと諏訪湖』を次世代へつなげ守るため、環境美化活動に力を入れています。昨年10月1日が諏訪湖の日に制定されたことを受け、10月3日(土)に諏訪湖創生ビジョン推進の一環として、生態系への影響などが懸念される浮葉植物のヒシが諏訪湖面に大量繁茂しており、その実を集め活用しようと挑む「NPO法人諏訪市セーリング協会」のヒシ取り作業に協力をさせていただきました。



当日は、当クラブメンバーや諏訪と支部メンバー、地元有志の高校生と教員の皆様、諏訪市セーリング協会メンバー約70名にて活動を行い、諏訪湖上で舟からヒシを刈り取ったほか、ヨットハーバーでは以前採取したヒシの実の鬼皮をむく作業を行いました。

ヒシの刈り取りは舟6隻に分乗し、「すわっこランド」前付近で行いました。ヒシは根本から抜くことが大切とのこと。参加した諏訪二葉高校の生徒さんは“途中で切れないように抜くのが慣れるまでは難しかったけど、取るのは楽しかったです”と、話していました。



またヒシの実の皮むきは、栗剥き器やハサミを使いながらの作業となり、2時間ばかりでボールいっぱいの実を採取することができました。今後も、良好な生態系を有する魅力的な諏訪湖を目指し、環境改善活動へ参加させていただきたいと思っております。(諏訪湖ライオンズクラブ)

コロナに負けるな！！諏訪湖DEウォーク

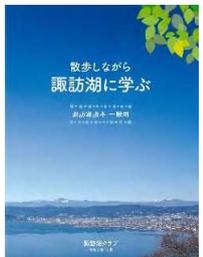
9月28日(月)～10月4日(日)に「コロナに負けるな！！諏訪湖DEウォーク」を開催しました。9月1日(火)に参加申込み受付を開始し、その日のうちに定員に達する申込みがありました。参加者は市内の方が最も多く約7割を占めており、諏訪郡内が3割、その他の県内



と山梨県からも各2名の参加がありました。イベント初日には諏訪市長と県諏訪地域振興局長が諏訪湖周でウォーキングを行い、諏訪湖とウォーキングの魅力をアピールしました。詳しくは諏訪市ホームページに掲載する予定ですのでぜひご覧ください。(諏訪市地域戦略・男女共同参画課)

「散歩しながら、諏訪湖に学ぶ」が発行されました

諏訪湖クラブでは、諏訪湖に関する冊子「散歩しながら、諏訪湖に学ぶ」を編集し、「諏訪湖の日」にあわせて発行しました。今年3月に諏訪地域振興局が小学生向けに発行した「みんなの諏訪湖」の姉妹編です。内容は、諏訪湖の地形・地質、気候、治水、浄化、水辺改修や諏訪湖に関する話題などです。印刷は(株)ジェイキッズにお願いし、費用は、諏訪ロータリークラブ、諏訪湖ロータリークラブのご援助をいただきました。



初版本は諏訪市、下諏訪町の中学校に贈呈予定で、贈呈式及び講演会(令和2年10月30日、諏訪市立上諏訪中学校)を予定しています。(諏訪湖クラブ)

クラウドファンディングのお知らせ

信州大学のクラウドファンディングのお知らせです。信州大学は、諏訪湖の水質調査を40年以上にわたって観察し続けてきましたが、装置が老朽化しているのが課題となっています。推進会議の水環境保全部会長でもある宮原教授は、ご支援をいただいた資金で装置の更新のほか、この水質調査の伝統に「リアルタイムのモニタリング装置」を導入し、これまで難しかった未来の水質を予測できるシミュレーションモデルの構築を目指しています。ご関心のおありの方は、ぜひホームページをご覧ください。

<https://academist-cf.com/projects/199?lang=ja>

「水環境保全部会」及び「湖辺面活用・まちづくり部会」を開催します！

諏訪湖創生ビジョン推進に向け、両部会を開催する予定です。お忙しい中ですが、構成員の皆様はご出席いただくようお願いします。

日時: 令和2年11月5日(木)

午前: 水環境保全部会/午後: 湖辺面活用・まちづくり部会

場所: 諏訪合同庁舎講堂

今後に予定しているイベントです

● 9月～10月	諏訪湖の日プロジェクト開催期間 詳細は諏訪湖の日ホームページを参照
● 11月5日(木)	諏訪湖創生ビジョン推進会議 水環境保全部会/湖辺面活用・まちづくり部会

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。

事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信29号

令和2年11月24日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖創生ビジョン推進会議 両部会を開催しました

11月5日(木)に、諏訪湖創生ビジョン推進会議の水環境保全部会と湖辺面活用・まちづくり部会をそれぞれ開催しました。コロナ対策のため、会議時間を短縮しましたが、このような中でも各構成員の様々な取組が進んでおり、有意義な部会となりました。

水環境保全部会

【ポスター発表】

会場内に取組ごとに作成したポスターを展示し、参加者は発表者と率直な意見交換や質疑応答を行いました。

～ ポスター発表 ～

- ・諏訪湖まるまるゴミ調査
- ・諏訪湖のヒシの今年の堆肥化について
- ・諏訪湖の水質
- ・メガネサナエのモニタリング
- ・覆砂場所のモニタリング調査(水質調査・底質調査)
- ・覆砂・砂浜の整備
- ・冊子「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」
- ・Suwa Smart Society 5.0
- ・諏訪湖の水辺植生(抽水植物帯～浮葉植物帯)の分布
- ・覆砂場所のモニタリング調査(シジミ・底生生物)
- ・諏訪湖の湖底測量
- ・白鳥飛来地・横河川河口の環境整備と白鳥の保護活動



【講演会】

講演会では「貧酸素水塊の発生及び拡大条件の分析」「ナノバブルを活用した貧酸素及び底質の改善効果の検証」について長野県水大気環境課から、「諏訪湖底泥のプラスチック破片の同定」について長野県環境保全研究所から講演いただきました。

湖辺面活用・まちづくり部会

「湖辺面活用・まちづくり部会」では、諏訪湖周サイクリングロードの進捗状況の報告や、「河川空間のオープン化(かわまちづくり)」に関する県・湖周3市町の取組の報告などがありました。サイクリングロードについては、前日の11月4日(水)



五味部会長挨拶

に、岡谷市のあいとびあ～諏訪湖ハイツ間(約460m)が一部共用開始となり、順次整備が進められています。今後は休憩スペースの「小径の駅」の設置も計画されており、ロゴマークの案も示されました。その他、ビジョンに記載されている覆砂箇所の変更の提案、各構成員からの提案や取組報告もおこなわれました。資料は諏訪湖創生ビジョンホームページに掲載しますので、構成員の皆様はご意見などありましたら事務局までお寄せください。

その後、現在計画が進んでいる「スワコエイトピークストライアスロン大会」について、大会実行委員会の皆様に講演をいただきました。この大会は「諏訪湖創生ビジョン」の実現も目標の一つとされており、諏訪湖でのスイム、湖周でのラン、諏訪地域6市町村を舞台としたバイクが予定されています。「泳ぎたくなる諏訪湖」を目指す私たちにとっても、楽しいイベントです。

諏訪湖創生ビジョン 公式YouTubeチャンネルを開設しました!

公式YouTubeチャンネルを開設し、水環境保全部会で行われた3つの講演を収めた動画を、掲載しました。ぜひご覧ください!



「諏訪湖の日プロジェクト」のご紹介③

9・10月と「諏訪湖の日」を挟み行われた「諏訪湖の日プロジェクト」が無事終了しました!この期間中に、様々な取組を通じて、多くの方に、諏訪湖を考えていただくことができました。

湖底に眠る縄文時代の遺跡「曾根」を知ろう!

諏訪市の千本木川が諏訪湖に流れ出した湖底には縄文時代草創期の遺跡「曾根遺跡」があります。明治時代、日本初の水中遺跡として発見されたこの遺跡を知っていただくため、諏訪市博物館と諏訪湖間欠泉センターの両施設では遺跡の紹介展示を設けています。



9月26日(土)から10月18日(日)の期間中には、両施設を訪れたお客様に曾根遺跡の情報を盛り込んだ特製クリアファイルをプレゼントしました。152名の方が出土した矢じりを見て、遺跡を想像しながら諏訪湖を眺めていただけました。山国の中のランドマーク「諏訪湖」は1万年以上前から現在まで、人々が集い交流を深める場所だと感じていただきました。

上諏訪中学校校友会 諏訪湖清掃

10月18日(日)に諏訪湖清掃を行いました。今年で48年目の活動で上諏訪中学校の伝統の一つです。参加は個人の意思による自由参加です。校友会(生徒会の名称です)の整美委員会が会員に参加を呼びかけ、今回は88名(全会員の51%)の参加となりました。



コロナ禍により今年の諏訪湖清掃はこの1回だけでした。校友会整美委員長は「寒い中だったけれど、一生懸命にゴミを探している姿や水際まで行ってゴミ集めを頑張っている姿などが見られました。会員の皆さんが協力してくれてうれしかったです。」と感想を話していました。(上諏訪中学校)

ワカサギ釣りのシーズン到来です!

寒い時期には、温かいドーム船の中でワカサギ釣りを楽しんでみませんか。本年度の諏訪湖でのワカサギ釣りは時間や量の制限なくできます。今年の調査の結果、9月時点のワカサギの数は6,162万尾で、同時期の過去5年平均値の1.8倍と推定されました。ワカサギの数が多いと、魚体は小さくなりますが、



9月時点で0歳魚の体長は45mmと、翌春の産卵期までに問題なく成熟する大きさです。また、体長80~110mmの昨年・一昨年生まれの大物がわずかにいますので、それらを狙うのも面白いかもしれません。(水産試験場諏訪支場)

少し早いですが、次回の推進会議を来年3月1日(月)に開催する予定です。新型コロナ等により変更の可能性はありますが、構成員の皆様はご予定いただくようお願いいたします。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。

事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信30号

令和2年12月21日号 諏訪湖創生ビジョン推進会議



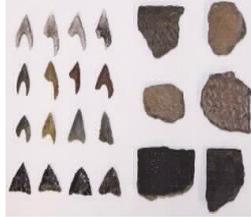
年末年始は自宅で諏訪湖を学ぼう! 新年テレビ番組のご案内

コロナ禍の中で迎える初めてのお正月ですが、今年は諏訪湖に関するテレビ番組やオンライン企画が盛りだくさんです。暖かいお家で、ご家族そろって諏訪湖を学ぶ時間を設けてみてはいかがでしょうか?

冊子「諏訪湖に学ぶ」を基にした映像番組

諏訪湖クラブでは、諏訪湖や周辺の話題を紹介するテレビ番組と、新聞紙面の作成を通して、諏訪湖の知識を深め、諏訪湖の環境保全活動などに協力していただくための広報活動を月1回ペースで行っていきます。

初回は、諏訪湖の湖底に眠る曾根遺跡の紹介と当時の諏訪湖の環境を照らし合わせることにしました。



曾根遺跡から
発掘された矢じり等

【番組の概要】いずれも15分番組

放送局：エルシーブイ株式会社

放送日：

令和3年1月1日(金) 午前7:30~

1月2日(土)

①午前11:45~②午後4:15~

1月3日(日) 午後1:15~

出演 沖野外輝夫 ほか

次回は「諏訪湖の成り立ちを探る」を予定しています。

生き物に学ぶ未来 ~ 諏訪湖の希少トンボと増えるシカ ~

SBCで毎年お正月に放送されている諏訪湖の環境番組ですが、今年は「生き物」をキーワードに、諏訪地域の環境の未来を探る特集となっています。ビジョンに基づいた「メガネサナエ」の調査の様子や、3月に発行した「みんなの諏訪湖」を使った小学校の環境学習の様子など、この一年の環境を守る取組を、丁寧に取材していただいています。

【番組の概要】

放送局：SBC信越放送

放送日時：令和3年1月3日(日)

午前8時00分~8時55分

内容：

県内では諏訪湖流域だけに生息する希少トンボ「メガネサナエ」の県による本格的な生息調査が始まりました。

「諏訪湖の日」をはじめ諏訪湖を活かした地域づくりのシンボルとして、関心を高めてもらうために生態を解明しようというものです。また、霧ヶ峰のシカの生息調査も長年続けられています。シカはニッコウキスゲの食害をはじめ地域の植生に大きな影響を与えており、柵の設置や捕獲による頭数調整など、人による管理が課題となっています。

このほか、小学生の環境学習やジビエ文化の振興など、身近な生き物を入りに、この地域の未来を考える取組を紹介していきます。



環境学習の様子

「諏訪湖創生ビジョン推進事業 調査結果報告書」がまとまりました

令和元年度に長野県が取り組んだ事業のうち、諏訪湖創生ビジョンの実現に向けて実施した諏訪湖の環境改善に係る調査結果等を報告書にまとめ、長野県公式ホームページに掲載しましたので、ぜひご覧ください。

トップ>暮らし・環境>自然・水・大気>水質保全>「諏訪湖環境改善に係る調査結果」

https://www.pref.nagano.lg.jp/mizutaiki/suwako_kankyokaisen.html

オンライン特別企画

「ゆく川 くる川 川談義」ぜひご視聴ください!

愛知・岐阜・長野・三重・静岡の河川等で活動する団体で立ち上げた、「中部流域連携ネットワーク」は、コロナ禍の中でも「いい川づくりの火を灯し続けたい」との思いから、オンライン特別企画「ゆく川 くる川 川談義」を開催します。この中で諏訪湖創生ビジョンの取組も、5分の動画で発表します! 私たちの取組を進める上でも参考になりますので、ぜひご視聴&ご参加ください! YouTuberによるライブ放送と、TwitterやFacebook等のSNSでのコメント、メールや郵便による「おたより」など、全国から、さまざまな形で参加できます。

みんなで作る「いい川・いい川づくり」の番組です。

開催日：令和2年12月26日(土) 15時~21時

27日(日) 8時~12時

※ビジョンについては26日(土)17時頃からのDセッションでの発表です。YouTubeの「いい川・いい川づくり中部」にアクセスすると、視聴できます。詳しくはホームページ・フェイスブックをご覧ください。

<http://mizukan.or.jp/kawanohi-2020pre>

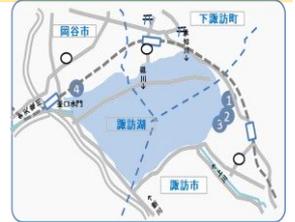
<https://www.facebook.com/iikawachubu>



あした天気にな〜れ ③

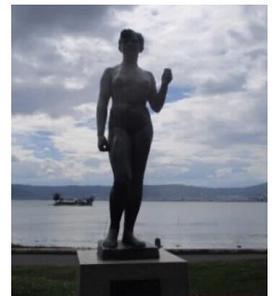
諏訪湖周の彫刻を見てみよう

暖かくして諏訪湖周を歩いてみるのはいかがでしょうか。諏訪湖周りの素晴らしい自然を背景にしていろいろな素材を使用した彫刻が設置されています。今回は地元の方の作品をご紹介します。



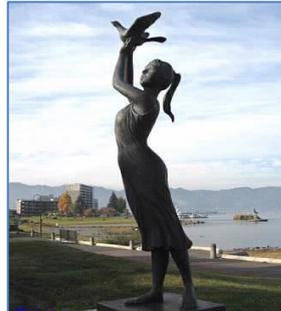
①大和 作内 作 「はぐくみ」

下諏訪町の彫刻家で諏訪地域の多くの彫刻を手掛けています。



②清水 多嘉示作「やわらぎ」

原村出身の彫刻家、武蔵野美術大学教授、文化功労者、原村名誉村民です。



③細川 宗英 作 「空へ」

諏訪清陵高校、東京芸術大学卒の彫刻家。主な作品は諏訪市美術館に常設展示されています。



④武井 直也 作 「まどろみ」

平野村(現岡谷市)出身 日本彫刻界にフランス近代彫刻の新しい風を吹き込こみました。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901



諏訪湖通信31号

令和3年1月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖Instagramフォトコンテストの入賞作品が決定しました

諏訪湖の魅力の世界に発信するため「諏訪湖の魅力部門」「諏訪湖の風景部門」の2部門を募集した諏訪湖Instagramフォトコンテストに全国から合計470作品のご応募をいただきました! 厳正な審査により、入賞作品が決定しましたのでご紹介します! どの作品も諏訪湖への愛情にあふれた素敵な作品です。入賞者のコメント等は「諏訪湖の日」ホームページに掲載していますので、こちらをご覧ください。たくさんのご応募ありがとうございました!

最優秀賞



alohappy777さん

優秀賞(諏訪湖の魅力部門)



oga.7さん

優秀賞(諏訪湖の風景部門)



takahirosagawaさん

諏訪湖創生ビジョン賞(諏訪湖の魅力部門)



hirasannopenさん

諏訪湖創生ビジョン賞(諏訪湖の風景部門)



ys.ryosukeさん

湖浄連が設立40周年を迎えました!!

下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会(湖浄連)が発足してから40年の歳月が流れました。

40年間の諏訪湖の様子と湖浄連の活動の変遷について振り返るパネル展を開催いたします。また、設立40周年の記念誌の配布を行いますのでお気軽にお立ち寄りください。

【設立40周年記念パネル展】

日時: 1月26日(火)~1月31日(日) 午前8時30分~午後5時

場所: 下諏訪総合文化センター 展示コーナー

※新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。

※1月30日(土)に予定していた湖浄連40周年記念式典は中止とし、今後のイベントの中で式典に代わる催しを実施予定です。

冊子「諏訪湖に学ぶ」を元にした映像番組(第2回)のお知らせ

諏訪湖クラブでは、諏訪湖の知識を深め、諏訪湖の環境保全活動などに協力して頂くため、多くの企業の協賛を得て、映像番組や新聞紙面の作成を企画しています。映像番組についてはLCVのご協力により、令和3年1月から6月まで6回にわたって放映されます。

第2回目は「諏訪湖の誕生」、諏訪湖は糸魚川静岡構造線やフォッサマグナなどの生成に関わる地殻変動によって生まれた構造湖であることを周辺の地質構造をもとに紹介します。

放送局: LCVTV-121チャンネル

放映: 2月~ 詳しい時間はLCVホームページをご覧ください。

<https://www.lcv.jp/lcv-tv/121/index.html>

出演: 沖野外輝夫、北澤和男ほか

3月は「諏訪湖の鳥たち」の予定です。

スワコエイトピークストライアスロン大会のボランティアを募集します!

本年6月26日(土)開催予定のスワコエイトピークスミドルトライアスロン大会。諏訪・下諏訪・岡谷・茅野・富士見・原の6市町村をまたぐダイナミックな大会が誕生しようとしています。トライアスロンとは水泳と自転車、マラソンを組み合わせた競技です。

スワコエイトピークストライアスロン大会実行委員会では、現在、開催に向けて準備を進めておりますが、この記念すべき大会をサポートするボランティアの皆様を約1500名募集いたします! 県内外から参加する選手を、諏訪圏の素晴らしい自然と人の

温かみでお迎えすることが大会の魅力につながります。団体・個人問わず随時募集しておりますので公式ホームページまたは大会事務局までお問い合わせください。



(問合せ先) 大会事務局

0266-78-6996

<https://suwako8peaks.jp/>



「SUWAKOペディア」を開催します

諏訪湖の周りを散策し、諏訪湖に関する情報を図書館で調べて、インターネット上のフリー百科事典「ウィキペディア」に記事を書くイベントを3月7日(日)に初開催します! 編集方法も学ぶので、初めてでも大丈夫です。諏訪地域の魅力を世界に向けて発信しませんか? 参加無料、定員20名。定員を超えた場合は、諏訪地域在住・在勤・在学の方を優先しますのでご了承ください。詳しくは「諏訪湖創生ビジョン」ホームページをご覧ください、ながの電子申請の専用フォームからお申込みください。

※開催に当たり新型コロナウイルス対策を十分に講じて実施します。今後の感染状況により変更や中止の可能性もありますのでご了承ください。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901





諏訪湖通信32号

令和3年2月22日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



今年も「明けの海」が宣言されました

一時期の寒さで全面結氷し、3季ぶりの出現が期待された「御神渡り(御渡り)」ですが、() 残念ながら2月3日に神事を司る八剣神社より、「明けの海」が宣言されました。この500年前から続く御神渡りの記録は、気候変動の貴重な資料として、国内外の研究者から注目を集めています。筑波大学大学院で気候変動を研究されている福村佳美さんより、諏訪湖を初めて訪問し、観察会に参加された感想をお寄せいただきました。諏訪の地に生きる私たちも、諏訪湖から何を学び、どんな行動をおこすのか、改めて真剣に考える時期に来ているのかもしれない。

御神渡り観察会に同行して

気候が風土をつくり、風土が文化を育てます。季節を愛でる私たちの文化は、四季折々の風習を育み継承してきました。気候変動の時代にあって、これらの文化や風習はどのような影響を受けるのか? 御神渡りは歴史ある神事であり我が国の誇る伝統文化です。突如現れる巨大な氷の筋を見た我々の先祖は、その神秘に感動し、また計り知れない自然の力に畏敬の念をも抱いたでしょう。その拝観が近年は難しくなってきたと聞き、観察会に参加させていただきました。今年は、全面結氷はしたものの残念ながら拝観はかないませんでした。しかし、八剣神社の皆様が毎朝白い息を吐きつつ波打つ湖面を見つめる様子を拝見し、御神渡りは諏訪湖を守る人々の心の中に息づいていることを知りました。



観察会の様子(福村さん提供)

諏訪では150年先の御柱のために木を植えると聞きました。地球温暖化による気候変動が日本の風土を変えつつある今、150年後の御神渡りのために何ができるか、私も考えていきます。

筑波大学大学院博士後期課程
ワイズ サステナブルコミュニティ 代表 福村佳美
<https://www.ysustainable.org/>

構成員紹介コーナー〜12 信州地域デザインセンター (UDC信州)

サイクリングロード整備や諏訪湖のかかわまちづくりなど、「諏訪湖を活かしたまちづくり」が湖周で徐々に進んでいますが、諏訪湖周辺のまちづくり支援を行っている「信州地域デザインセンター(UDC信州)」が新たに諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員として加わりましたので、ご紹介します。

信州地域デザインセンター(UDC信州)は、近年、高度化・専門化・多様化するまちづくりの課題に対応するため、公・民・学が連携したプラットフォーム組織として、2019年8月に設立しました。様々なまちづくり相談への助言や企画提案、またネット



まちづくり勉強会

夕のハブ機能として、情報の集約・発信、学びの場の提供等、人とまち、人と人を繋げる支援も行っています。

諏訪地域では、自転車を活用したまちづくりに向けた取組提案、岡谷市での民間企業が有する先端技術を用いたバス利用調査の実証実験の提案、諏訪市での上諏訪駅周辺のまちづくり検討といった支援を行っています。



ホームページ

湖水から鳥インフルが検出されました

通常人には感染しないと考えられますが、ウイルスの拡散を防ぐため、野鳥との接触は控えてください。鳥の死骸を見つけた場合は、触らずに諏訪地域振興局林務課に連絡してください。

冊子「諏訪湖に学ぶ」を元にした映像番組(第3回目)のご案内

諏訪湖クラブでは、諏訪湖の知識を深め、諏訪湖の環境保全活動などに協力して頂くため、多くの企業の協賛を得て、映像番組の制作や新聞紙面の掲載を、令和3年1月から6月まで6回にわたって行っています。

第3回目(3月)は「諏訪湖は鳥の宝庫! ~諏訪湖のカワウ~」です。諏訪湖には、数多くの鳥が見られますが、今回はカワウの生態をとりあげてみました。江戸時代には諏訪湖でも鵜飼い漁が行われていました。

放送局:LCVTV-121チャンネル 15分番組
火曜日 am10:30~ pm3:00~
木曜日 pm3:00~ 金曜日 pm8:45~
土曜日 pm5:15~

出演 沖野外輝夫、笠原里恵ほか
4月は、「諏訪湖の治水」の予定です。



カワウ

魚獲りが上手。水にぬれた翼を大きく広げ乾かします

あした天気にな〜れ ④ 諏訪湖国際彫刻シンポジウムの彫刻

諏訪湖畔に並ぶ石の彫刻は、昭和53年(1978)に開催された諏訪湖国際彫刻シンポジウム参加者7か国21名の共同制作です。全ての彫刻が諏訪市霧ヶ峰産の安山岩を使用して作成されています。総括責任者であった横沢英一さん(故人)は、「彫刻の原点に戻って自ら汗を流し、土地の風土、素材、周囲の景観を踏まえながら最もふさわしい形で、そこにある命題を確かに表現できた」と話されていました。人種の違う7か国の彫刻家が一つのテーマに向けて共同制作という難しさを乗り越えられたことが大きな成果です。市民の共感や励ましの中で誕生した石彫公園は、諏訪湖畔のシンボルとして定着しています。



最初に行われた制作会議

参加された彫刻家	
日本人13人	横沢英一さん他12名
西ドイツ	エルマー・ダウハー
オランダ	ジェラード・ハウエル
ルーマニア	ジョージ・アポストウ
アメリカ	テリー・ジェイ・ディナン
	ポール・アッシュエンバッハ
ベルギー	ドミニク・ストゥーバント
オーストリア	フランツ・カッツグラバー
	マティアス・ヒツ



作品設置作業の一コマ



大きさがよくわかります

石彫公園は17,000㎡の広さがあり、約30個の作品が置かれています。参加された彫刻家は、当時、この先50年は原型をぜひ保存して欲しいと諏訪市に要望書を提出されたそうですが、45年経た現在も大事に保存されています。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信33号

令和3年3月22日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



第6回諏訪湖創生ビジョン推進会議 が開催されました

3月1日に第6回諏訪湖創生ビジョン推進会議を開催しました。コロナ禍で構成員が一堂に集まる機会がなかなか作れない時期が続いていましたが、コロナ対策を講じつつ、久しぶりの意見交換の機会となりました。

会議では、水環境保全部会、湖辺面活用・まちづくり部会の今年度の取組共有のほか、スワコエイトピークストライアスロン大会のボランティア・選手募集の案内、「ごみの無い諏訪湖」WGの報告、また、来年度に向けた新たな検討課題として「諏訪湖周自転車活用推進協議会(仮称)」と「諏訪湖の案内人(仮称)養成」WGの設置予定などが報告されました。



構成員からは、諏訪湖の案内人について「諏訪湖を愛する人が積極的に関われるようにしてほしい」、交通ルールについては「子ども連れの自転車とロードバイクが交じって事故のないようにしてほしい」などの意見が出されました。



意見交換では、構成員から諏訪湖のマイクロプラスチックに関する質問や、水の中の環境改善を望む意見、来年度に向けた抱負などが出されました。難しい状況が続きますが、それぞれできることを着実に進めて行きましょう!

「SUWAKOペディア」を行いました!

諏訪湖の周りを散策し、図書館の文献で調べてインターネット上の百科事典「ウィキペディア」を編集するイベント「SUWAKOペディア」を開催しました! これは「ウィキペディアタウン」と呼ばれるイベントの諏訪湖版。初開催です! 中・高校生から70代まで21名にご参加いただきました。ほとんどがウィキペディアの編集初心者で、諏訪地域の在住、在勤、在学の皆さんです。

まずは会場の下諏訪町立図書館に集合。講師のウィキペディア日本語版編集執筆者である Asturio Cantabrio 先生、Araisyohei先生からウィキペディアの概要についてお聞きし、いざ諏訪湖のまち歩きへ!



ほかほか暖かい春の日差しの中、編集項目の「赤砂崎公園」「釜口水門」「曾根遺跡(間欠泉センター)」を回り、途中、建設が進む諏訪湖周サイクリングロードも見学しました。バスの中では、参加者の皆さんから諏訪湖の意外なトリビアが披露され、諏訪湖の魅力が再発見できる貴重な機会となりました!

午後は時間が少々押したため、昼食をいただきながら、ウィキペディアの具体的な編集方法等について講師からガイダンスを受けました。そしていよいよ各グループごと編集開始! 湖周の図書館等に協力をいただいた文献を調べながら年代の違う参加者が協力し合い記事を編集しました。中学生が記事を作成し、無事アップした時には参加者から拍手が送られました!

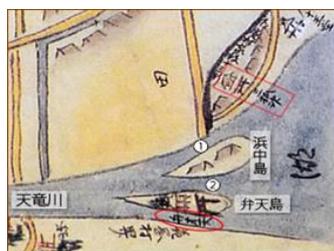


そしてグループごと成果発表と講評を行い、参加者全員で「諏訪湖LOVE」ポーズで記念撮影! 楽しい一日になりました。

冊子「諏訪湖に学ぶ」を元にした映像番組 (第4回目)のご案内

諏訪湖クラブでは、諏訪湖の知識を深め、諏訪湖の環境保全活動などに協力して頂くため、多くの企業の協賛を得て、映像番組や新聞紙面の作成を、令和3年1月から6月まで6回にわたって行っています。

第4回目は「諏訪湖の治水～諏訪湖出口の浜中島の撤去～」です。江戸時代、たび重なる諏訪湖の洪水被害を減らすため、諏訪湖の出口(現在の釜口水門付近)にあった満水堀と新堀という水路が開削され、浜中島と弁天島ができました。さらに元禄2年(1689年)若干22歳の伊藤五六郎は、阿呆丸と呼ばれる泥船の約20倍も大きな船を使って、浜中島を撤去し、その土砂を利用して諏訪市豊田地区を埋め立て、水田を造成したのです。



諏訪湖出口の開削によりできた弁天島と浜中島



浜中島の土砂を利用して干拓した諏訪湖の豊田地区水田 撮影大正

放送局: LCVTV-121チャンネル 15分番組

詳しい放送時間はLCVのホームページをご覧ください

<https://www.lcv.jp/lcv-tv/121/index.html>

出演 沖野外輝夫、山田勝文(前諏訪市長)ほか。

5月は、「諏訪湖の水辺の整備と活用」の予定です。

推進会議構成団体紹介コーナー ⑬ ～諏訪湖カヤック～

諏訪湖カヤックは2021年4月から3シーズン目を迎えます。

紅やマリーナを拠点に、2時間のガイドツアーをご提供しています。初島や間欠泉の噴出、衣之渡川、八重垣姫像等の名所を回りながら諏訪湖を周遊する諏訪の魅力が詰まったツアー行程です。



水面に近く、体験後に残る浮遊感と達成感は格別! 最初は怖がっていた子どもも、2時間で成長がみられます。

カヤックで湖にこぎ出すと、多くの方が「思ったより汚くない」と気づきます。とはいえ、現在でも夏は、大繁殖する菱に絡まったごみが目立ちます。そこで、2019年には、諏訪湖花火大会の翌日「トレジャーハントカヤック」と題し、カヤックに乗ってゴミを集めるイベントを開催。



2時間で45Lの袋が、10袋もいっぱいになりました。

楽しみながら環境を見つめられるカヤックツアー。諏訪湖で遊ぶ人、意識する人が増えれば湖もきれいになる。「持続可能な地域づくり」の一助となれば嬉しいです。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901